

2014年6月20日

GE ヘルスケア・ジャパン, ～世界初の 2 in 1 方式プローブ搭載～ ポケット型超音波診断装置を発売

GE ヘルスケア・ジャパン(株)は、一本のプローブの両端に深部臓器と表在臓器のそれぞれを描出できる二つの探触子を搭載した 2 in 1 方式プローブ採用のポケット型超音波診断装置「Vscan Dual Probe」を販売開始した。本製品は、すでに救急や在宅診療をはじめとする多くの医療現場で利用されているポケット型超音波診断装置「Vscan1.2」の上位機種であり、2 in 1 方式プローブを採用する超音波診断装置として世界初となる。

2010年7月の発売以来、2014年5月末までに国内で2,700台を超える販売実績を誇る「Vscan」は、「ポケットに入る超音波診断装置」として、救急から災害、在宅などさまざまな医療現場で利用されてきた。2011年3月11日に発生した東日本大震災では、Vscanを携えた医師が被災地に赴き、妊婦や疾患を抱えた患者を含め避難所で不安を感じていた多くの方々への医療活動に役立てられた。

このような実際の臨床現場での使用経験の中から、表在臓器も描出可能なプローブを求める声が多く寄せられていたが、その要望に応え、これまでのVscanのコンパクト性を損なわずに新たに開発されたのが「Vscan Dual Probe」である。これによって、頸部や四肢血管など皮膚表面から2～3cmの深さの臓器の描出が可能となった。本製品の登場により、これまで以上に幅広い臨床現場での使用が可能になり、往診やベッドサイドでの診察はもちろん、時間や場所を選ばない診療実現の一助として活用できるようになる。

以上